

合宿のプログラムの詳細を詰めることが今回のメインピックだったが、FB会を通して、詰めが甘い部分がはっきりした。

私は合宿で公開個別フォローをやろうと決めてはいたものの、テーマを悩んでいた。「弱みを見せる」をテーマにしようと思ったのだが、陽子さんの指摘で、「弱みを見せられないこと」と「人の力を借りられないこと」は、そもそも別の原因に根差しているということがわかった。弱みを見せることよりも、人の力を借りることの方が今の私たちには必要だと思うので、このテーマでお題を再考してみよう。現在の生活が「人の力を借りなくても成り立っている」、逆を言うと「自分自身の力で何とかできる程度に収まっている(収めている)」という陽子さんからの話は、とても説得力があった。人の力を借りてでも成し遂げたいこと、やりたいことがあれば、もっと人の力を借りられるのだろう。目的が曖昧だから、自分の実力の範囲に日常が収まっているというのは、間違いないだろうな。

他のメンバーのプログラムの話では、長期目標の話から、「70歳になった時の自分」という全員が同じ熱量で取り組めるテーマに陽子さんが落とし込んでくれた。10年後と言われてもいまいちピンとこないけど、“70歳になっても現役で働いていたい”というのは、未来を描くのが苦手な私が、1番具体的に描けるなりたい姿だ。ちょうど今月会社に65歳のパートさんの入社が決まっている。面接した時年齢が気にならなかったと言えは嘘になるが、65歳から新しい職場で働くという一つの働き方のモデルを間近で見れるチャンスでもあるなあと思うことができた。

そして、合宿、GW企画の話がひと段落したタイミングで、陽子さんから、「話したいことは話し終わった感じ？」という呼びかけがあり、メンバーAさんにジャーナルの更新が空いてしまう日があることについて伝えた。私はジャーナルは毎日やるからこそ効果があると思っている。個人ボードは気になったトピックについて掘り下げる作業なのに対して、ジャーナルはもっと日常の、無意識の部分に表れる思考の癖や価値観を拾っていく作業だと思っている。普段流す癖がついてしまっているので、日を跨ぐとすり抜けていってしまうように感じている。(逆に日を跨ぐことで、思考が深まることも時にはあるが、それはそれで後から書き足せばいいなど)あと自分との約束を守ることは自分の価値を信じられることに繋がっていると私は思っているので、Aさんの目標にも関係していると思った。

陽子さんからは、毎日やることよりも、飲み会の優先順位が高いことに関するフィードバックがあった。Aさんにとって飲み会は、お酒が好きだったり、会社では話せないことを話せたり、楽しみの側面があるんだろうと思っていたけど、「忠誠心」という答えが返って来るとは、予想もしていなかった。陽子さんが聞いたのは、「Aさんにとって飲み会の目的ってなんなの？」という一言だけだ。

冒頭で話をした時、Aさんから「釜活と同じようにジャーナルを毎日やるものとして捉えていなかった」という説明があって納得したのだけど、そこで会話を終わらせていたら、「忠誠心」の話は聞くことができなかった。「粘ってほしい」という言葉もただの精神論になってしまっていたなど。伝え方にも、

会話の拾い方にも、まだまだ課題があると感じたFB会だった。

今回は2時間半の長丁場となってしまったけど、各トピックに時間を割いて、じっくり話げできたと思う。ありがとうございました！

(E.M 40代女性 埼玉県)